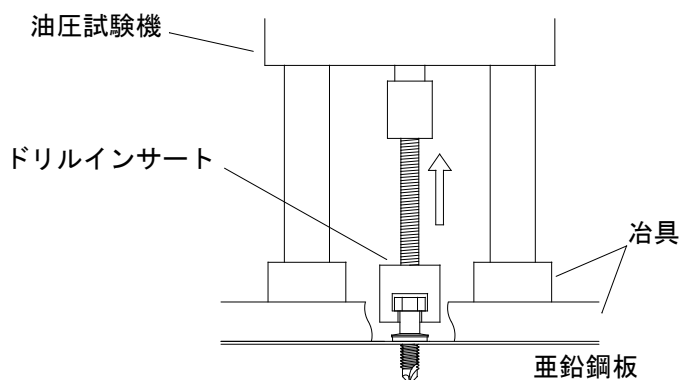


ドリルインサート引張試験成績書

品番	下地厚(mm)	試験材	最大引張強度	状態
2000、2000SS	0.6~1.6	亜鉛めっき鋼板 0.6 t	1,177 N(120 kgf)	抜け
2030、2030SS		亜鉛めっき鋼板 0.8 t	1,667 N(170 kgf)	抜け
2050、2050SS		亜鉛めっき鋼板 1.2 t	2,354 N(240 kgf)	抜け
3050、3050SS		亜鉛めっき鋼板 1.6 t	3,923 N(400 kgf)	抜け
2030断熱タイプ 2050断熱タイプ				

■試験状態

試験材にドリルインサートをねじ込み、油圧試験機で引張試験をし最大平均値を計測。



- * 鉄下地に直角にねじ込み曲げ方向の荷重が掛からない状態で接続して下さい。
- * 施工状態の良し悪しで記載した最大引張強度は大きな差が生じますので十分配慮して下さい。
- * 下穴を別工具で穴明けしての使用は最大引張強度の保証はできません。
- * 過大な締め付けは最大引張強度の保証はできません。
- * 十分な安全率を考慮して施工を行って下さい。

令和元年9月5日

イイファス株式会社 / (株) シグテックファスナー

詳しい情報はこちらから <http://www.iifas.jp> Email: sales@iifas.jp

